

令和 3 年 3 月の市民の声（全 8 通のうち 3 通）

◇ 浦佐駅の活性化と官民学のでこ入れについて

【ご意見・ご提案など】

浦佐駅自体をどう活性化したらよいか？観光アナリストの方や、ITパーク、国際情報高校、国際情報大学、新潟県と南魚沼市の有識者による町づくり活性化のてこ入れをしてください。ZOOM や Skype によるオンライン座談会を開催してください。

（令和 3 年 3 月 10 日）

【お返事】

浦佐駅の活性化については、平成 28 年度から平成 30 年度に、JR 東日本と市で協議を行った経緯があります。協議の概要は、浦佐駅構内の機能向上について、官民が連携して活性化を図ろうとしたものです。例えば、空きスペースを産地直売所やまんが図書館、カフェ等として活用する構想などがありました。さまざまな協議や調整を行いましたが、最終的には、令和元年 9 月に魚沼市・南魚沼市の広域観光案内所として「うおぬま・浦佐駅観光案内所：通称 MYU（ミュウ）」を開設し、大和観光協会が市役所大和庁舎から当該案内所に移転することとなりました。

このような経過から、新たな活用の協議を開始することは、現時点では考えていません。しかし、浦佐駅はその規模、位置、周辺の施設の整備状況等を鑑みても大きな可能性を秘めているランドマーク施設です。JR、市、民間企業などの意向や需給バランスを把握しつつ、タイミングを見計らって、ご紹介いただいたような有識者の方に入っていただきながら、協議を再開したいと考えています。

（担当：企画政策課）

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇大和庁舎の窓口対応について

【ご意見・ご提案など】

大和庁舎の窓口で対応した職員、態度悪すぎ。かなりの上から目線でこちらを見下した態度。ものすごく気分悪かったです。こんな人が窓口で対応しているのだから、市民サービスも期待できませんね。

(令和3年3月22日)

【お返事】

この度の窓口対応では、不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ありませんでした。

窓口では、さまざまな確認事項があり、その過程で説明不足の点や至らぬ点があったものと思われまます。ご指摘にある、上から目線での対応を行ったつもりはございませんでしたが、誤解を生むような対応により、不快感を与えてしまったことについてお詫びいたします。誠に申し訳ありませんでした。

今後このようなことがないように、より一層、接遇等の改善に取り組み、市民の皆さまが心地よく窓口を利用していただけるよう、職員の資質向上に努めてまいります。

(担当：大和市民センター)

問合せ：秘書広報課 ☎773-6658

◇ワクチン接種の優先順位について

【ご意見・ご提案など】

新型コロナワクチン接種の優先順位についてです。南魚沼市で働く労働者の多くは、昨今のグローバル社会の中において、企業の社命によって県外、あるいは海外へ赴く場面が多々見られることはご理解いただいていると思います。また、企業としても、事業の継続による雇用の確保、並びに最低限の企業責任を果たす上で、コロナ禍であっても国内・海外を問わず、出張業務を命ずることは、ごく普通に存在します。

一方で、南魚沼市におけるコロナの感染状況は、適切な行政指導と徹底した予防処置、及び住民の努力によって抑え込みに成功していると思われ、結果として高齢者の罹患リスクは低いものと捉えられます。

これらを俯瞰的に見ると、今後、社会活動が活発化していく中で市内のコロナ感染を抑えるためには、普通に考えて罹患リスクの高い人からワクチン接種を始めるべきでは無いですでしょうか？（医療従事者≧出張に携わる会社員≧一般会社員≧高齢者）

今の市内の状況を鑑み、高齢者の罹患リスクとアクティブに企業で働く住民との罹患リスクを比較した場合、誰が見ても後者の罹患リスクが高いことは明らかです。従って、市内感染のリスクヘッジを行う上で、現状の接種スケジュールを正しいとする根拠があったら教えて頂きたいです。

なお、出張に携わる家族としては、出張から帰ってきても一定期間は別居生活を強いられるケースも多々見られ、それが生活のストレスとして大きなウェイトを占めています。ワクチン接種によって、生活のストレス軽減にも繋がると思われますので、それらを含めて見解をお願いします。

（令和3年3月15日）

【お返事】

市民の皆様の感染予防の取組により、現在まで感染が大きく広がることなく抑え込まれていることに感謝しています。

お問い合わせの新型コロナワクチン接種の優先順位につい

ては、日本や世界における新型コロナウイルス感染症の罹患状況を踏まえ、国が優先順位を決定しています。感染拡大予防の視点においては、ご指摘のとおり、経済活動を停滞させないために感染拡大地域へ出張せざるを得ない方々を優先してワクチンの接種を実施することも大切なことと考えています。しかし、重症化の問題、死亡者数、死亡率を考えたとき、高齢者が感染した際のリスクは大きいということが国の判断であると認識しています。また、高齢者施設でのクラスターの発生が連日のように報道されています。ひとたび高齢者の感染が広がると、若い世代よりも重症化し、抑え込みに時間を要するとともに、医療体制がひっ迫する事態になりやすいと考えられます。

これらの状況や国の方針を踏まえ、市でも高齢者の接種を優先した体制を整備しているところです。また、高齢者以外の対象者への接種体制も順次整備しています。ご理解いただきますようお願いいたします。

国の感染対策の情報は「首相官邸」のウェブサイトなどに掲載されておりますので、ご覧ください。

(担当：保健課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658